

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成30年6月7日(2018.6.7)

【公表番号】特表2017-515625(P2017-515625A)

【公表日】平成29年6月15日(2017.6.15)

【年通号数】公開・登録公報2017-022

【出願番号】特願2017-507055(P2017-507055)

【国際特許分類】

A 47 G 21/06 (2006.01)

A 47 G 21/00 (2006.01)

A 47 G 19/00 (2006.01)

【F I】

A 47 G 21/06

A 47 G 21/00 V

A 47 G 19/00 N

【手続補正書】

【提出日】平成30年4月18日(2018.4.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

食器セットであって、

1つ以上の容器を含み、前記容器がそれぞれ、

概ね平らな底部と、

前記底部上に配置されたボウル部と、

概ね滑らかな内側面を備え、前記ボウル部の外周を囲み、かつ前記ボウル部の上方に垂直方向に延伸され、空間を定義する概ね直立した側壁部を含み、

前記ボウル部の上表面が垂直方向に傾斜され、

前記ボウル部の第1側が前記ボウル部の第2側より前記底部上でより高くなるように構成され、

前記容器の前記第1側が前記容器の前記第2側に相対する側であり、

前記ボウル部の上表面が前記空間内で平坦な深い区域と垂直に傾斜した浅い区域を定義し、

前記容器の浅い区域の同一側に設置され、かつ前記側壁部から概ね水平に延伸されたタブを含み、

前記ボウル部の上表面が垂直方向に傾斜されることで、前記空間内に入れられた食品が前記空間の深い区域に集まるようにするために用いられることを特徴とする、

食器セット。

【請求項2】

前記容器がさらに、前記側壁部の外周を囲む円形リップ部を含み、前記円形リップ部が前記側壁部から外側に向かって上向きに延伸されたことを特徴とする、請求項1に記載の食器セット。

【請求項3】

前記容器がさらに、前記円形リップ部に連接された複数のハンドル部を含み、前記複数のハンドル部が前記円形リップ部から下向きに延伸されたことを特徴とする、請求項2に

記載の食器セット。

【請求項 4】

さらにスプーンを含み、前記スプーンが、つぼ部と、前記つぼ部の第1端部から延伸されたハンドル部と、前記ハンドル部に相対する前記つぼ部の端部に沿って配置された先端部を含むことを特徴とする、請求項1に記載の食器セット。

【請求項 5】

前記スプーンの先端部の曲率が、前記容器のボウル部の曲率に垂直軸に沿って概ね適合することを特徴とする、請求項4に記載の食器セット。

【請求項 6】

前記つぼ部の側面端部の曲率が、前記容器の側壁部の曲率に水平軸に沿って概ね適合することを特徴とする、請求項4に記載の食器セット。

【請求項 7】

前記ハンドル部が前記つぼ部の第1端部から人がスプーンを握ったときの手の形状に対応した曲率に沿って延伸されたことを特徴とする、請求項4に記載の食器セット。

【請求項 8】

前記側壁部が、前記ボウル部の第1側に対応する前記側壁部の第1側と、前記ボウル部の第2側に対応する前記側壁部の第2側と、を含み、そのうち、前記側壁部の第1側が前記ボウル部上方に概ね直線に沿って垂直方向に延伸され、さらに、前記側壁部の第2側が前記ボウル部上方に弧に沿って延伸されたことを特徴とする、請求項1に記載の食器セット。

【請求項 9】

さらに前記側壁部の上表面に沿って装着機構により前記容器に取り外し可能に取り付けられるように構成された着脱自在の蓋を含むことを特徴とする、請求項1に記載の食器セット。

【請求項 10】

前記容器がハンドル部を含み、前記ハンドル部が、前記側壁部の外側表面の少なくとも一部分に沿って前記容器に連接され、かつ前記ハンドル部がさらに、前記底部の一部分に沿って前記容器に連接された安定化部分を含み、前記ハンドル部の安定化部分の底面側表面が前記底部の底面側表面に平行になるように構成されたことを特徴とする、請求項1に記載の食器セット。

【請求項 11】

さらにトレイを含み、前記トレイが、平坦な表面と、前記平坦な表面の相対する端部に設けられた複数のハンドル部と、前記平坦な表面の少なくとも1つの端部に沿って配置された複数の固定機構を含み、前記固定機構が前記トレイに布片を取り外し可能に固定できるように構成されたことを特徴とする、請求項1に記載の食器セット。

【請求項 12】

前記各固定機構が、複数の抵抗力のあるフラップ、1つのクリップ、1つの留め金、1つのクランプ、1つのリング、1つの紐を備えた開口のいずれかであることを特徴とする、請求項1に記載の食器セット。

【請求項 13】

前記容器がさらに、前記側壁部の上端部を囲む円形リップ部を含み、前記タブが前記円形リップ部の一部分から延伸され、前記容器の浅い区域と同一側に設置されたことを特徴とする、請求項1に記載の食器セット。